



挑戦する大切さを伝えた（手前左から）室屋選手、中上選手、佐藤選手（©岸田克法）

室屋義秀選手 佐藤琢磨選手 中上貴晶選手

## 世界に挑む、秒速の勝負

### 東京ファン500人と交流

福島市在住のエアレースパイロットで元世界王者の室屋義秀選手ら世界のトップレーサー三人によるトークイベント「ジャパン・レーサーズ・スクワッドミーティング」は八日、東京都港区のスターライズタワーで開かれた。

ブライトリング・ジャパンの主催。戦いの舞台裏や世界に挑む心境などを語る「レーサーズ・セッション」、子どもたちの質問や撮影に答える「ドリーム・セッション」の二部で開催し、小学生から社会人まで計約五百人が訪れた。

二〇一七（平成二十九年）、飛行機の最高峰レース「レッドブル・エアレース・ワールドチャンピオンシップ」でアジア人初の年間総合優勝を果たした室屋選手、自動車の「インディ500」を日本人で初めて制した佐藤琢磨選手、オートバイ

の「MotoGP」で活躍する中上貴晶選手が登壇した。

室屋選手は今季で終了したレッドブル・エアレースを振り返りな

がら、競技を始めたきっかけや、夢の実現に向けて強い思いを持ち続ける大切さを説いた。来場者は熱心に聞き入っていた。